

資料2 オープンハウス型説明会のご意見と区の考え

1. 実施概要

開催日	開催場所	来場者数	アンケート回答者数 (居住地のみ回答も含む)
3月9日(土)	文京シビックセンター	51	38
3月10日(日)		35	19
3月14日(木)		59	26
合計		145	83

※各会場とも開催時間は10時～16時

※合わせて3月2日(土)～3月8日(金)の期間、文京シビックセンター地下2階 区民ひろばにて、説明会時に使用するパネルの展示を行いました。

2. 意見の概要

	区分	件数	割合(※)
「3 まちづくりの目標と将来構造」に関する意見	3-1. まちづくりの目標と将来の姿	1	1.4%
	3-2. まちの将来構造	3	4.2%
「4 部門別の方針」に関する意見	4-1. 土地利用方針	4	5.6%
	4-2. 道路・交通ネットワーク方針	10	13.9%
	4-3. 緑と水のまちづくり方針	4	5.6%
	4-4. 住宅・住環境形成の方針	14	19.4%
	4-5. 景観形成方針	1	1.4%
	4-6. 防災まちづくり方針	5	6.9%
「5 地域別の方針」に関する意見	5-1. 都心地域	5	6.9%
	5-2. 下町隣接地域	2	2.8%
	5-4. 山の手地域中央	2	2.8%
	5-5. 山の手地域西部	3	4.2%
「6 実現化に向けて」に関する意見	6-2. 持続的なまちづくりのための推進方策	5	6.9%
その他の意見	説明会	10	13.9%
	その他	3	4.2%
合計		72	100%

※端数処理のため、割合の各値を足した数は合計と一致しません。

2. オープンハウス型説明会のご意見と区の考え

ご意見		区の考え	
1	3-1	○散歩してたのしいまち	○説明会に関するご意見、ありがとうございました。 引き続き、協働で次世代に引き継ぐ安全で快適な魅力あふれるまちづくりに取り組んでまいります。
2	3-2	○文京区が他の特別区から遅れをとらないよう、都市機能の強化、バリューアップを推進していただきたいです。 ○都市核をより一層充実させるべく、柔軟な土地利用を図っていただき、都内で有数の「魅力ある都心エリア」として進化発展させてください。（ドームシティ周辺エリアにおいては、エンタメの聖地としての更なる充実にも期待しています。）世界中から注目してもらえるような文化・スポーツ・エンタメの「日本が誇れる唯一無二のスペシャルゾーン」をぜひ創り上げてください。	○都市拠点を位置づけ、都市機能の集積と交流機能の充実を図ってまいります。 ○都市核に加えて都市交流ゾーンを位置づけ、みどりの充実、にぎわいと交流の創出を目指してまいります。
3	3-2	○文の京としてのブランド力をより向上させるために、後楽一丁目や本郷三丁目のエリアはより観光の拠点になるようにして、国内外の方々の流入を促すなど、他エリアとメリハリをつけていってはどうか。特に、小石川後樂園は文化財として高次なものであるため、京都ではないが、強くアピールしていけるものだと考えます。 ○まちづくりの目標に掲げた”豊かな緑と変化にとんだ地形の中に歴史と文化が薫るまち”と”新たな潮流に伴うイノベーション”の両方がかなうエリアになることを期待します。 ○都市交流ゾーンの2つが一体となり、都市核としても位置づけるのも一手ではないでしょうか。	○都市交流ゾーンや下町交流ゾーンでは、地域の特徴を生かし、国内外から多くの人が集まり交流する地域の形成を目指してまいります。小石川後樂園は、文化財であり大規模な緑でもあるため、にぎわいと交流を生み出す中心的な施設の一つと考えています。引き続き、文京区の魅力の継承と創造を目指したまちづくりを進めてまいります。 ○都市核は現行の都市マスタープランから継承し、都市交流ゾーンは今回の見直しで新たに位置付けるものです。都市核と都市交流ゾーンの位置づけは、今後のまちづくりの状況を踏まえ、次回の都市マスタープラン改定の際に改めて検討したいと考えております。
4	3-2	○まちづくりの目標に「魅力の継承」と「魅力の創造」の2つが両輪になっていることは素晴らしいと思いつつ、現状の区の各種規制においては、「魅力の継承」によった内容のものが多く、新しいものを採用しづらい環境があると思います。ぜひ、地域特性に応じた柔軟な対応が出来る環境を都市マスタープラン改訂後は希望します。（景観の規制など） ○都市構造上は「都市交流ゾーン」となっているエリアが土地利用上はみどりの空間に設定されていると思います。文京区の「魅力の継承」にあたる「みどり」と「魅力の創造」にあたる「高次の都市機能」がラップしていることは、まさにこの「過去」と「未来」の両方の良さをミックスして行う次世代型のまちづくりになるのではと思いました。	○都市マスタープランの見直し後は、その方針に基づく個別の施策を推進し、都市マスタープランの実現に向けたまちづくりを進めてまいります。 ○都市交流ゾーンでは、高次の都市機能の集積とともに、みどりの量的な底上げと質の向上を図ることが、にぎわいと交流の創出、憩いの空間と豊かな暮らしへの貢献、イノベーションの誘発等に重要であると考えております。
5	4-1	○緑が多い、歴史（史跡）がある、キャンパスが多い、などの特色が文京区の魅力であると考えるので、引き続き維持してほしい。 ○一方で高層マンションの乱立、地価の高騰により、住みづらさも上がっている可能性があり、一定以上の規制など何らかの対策も必要と思料。（手頃な価格のスーパーなどへのアクセスも大切）	○引き続き、交通利便性、緑、歴史・文化、大学の集積・教育環境及び医療機関などの文京区の魅力の継承に努めてまいります。 ○土地利用に関しては、業務・商業系、住居系、公園、公共施設など、地域特性に応じた多様な市街地形成を目指してまいります。
6	4-1	○今後も人口増加が予想されると思います。特に、ファミリー層も増えてくると考えられるので、それに合わせて、学校教育施設の充実をさらに考えて頂きたいです。住環境は整えられても、そこから通う子ども達は、せまい環境で教育、保育を受けざるをえません。大規模な公共施設をつくるのは難しいかもしれませんが、人口増加に合わせた教育環境が充実すると良いと思います。	○今後の人口増加や都市マスタープランの計画期間以降に訪れると予測される人口減少社会などの人口構造変化への対応を見据えた公共施設整備に努めてまいります。

ご意見			区の考え
7	4-1	○タワーマンションは規制した方がよいかと思っています。	○建築物の高さについては、第4章の土地利用方針における建築物の高さの方針図に基づく誘導を行ってまいります。
8	4-1	○高層マンションはがまだ必要なか→人口が増えていない。 ○空が見えなくなるのは耐えられない。	○建築物の高さについては、第4章の土地利用方針における建築物の高さの方針図に基づく誘導を行ってまいります。
9	4-2	○無電柱化を進めていただきたい。	○文京区無電柱化推進計画に基づき「歩行空間の改善」、「都市景観の向上」、「防災性の向上」の観点から踏まえ、無電柱化を推進してまいります。
10	4-2	○自転車の安全な道路づくり（無電柱化とあわせて）すすめて下さい。	○文京区自転車活用推進計画に基づき、区内において自転車が安全かつ連続的に通行可能な自転車ネットワーク路線を整備してまいります。
11	4-2	○自転車レーンに車がとまっているのを対策してほしい。 ○自転車の交通安全対策	○歩行・自転車利用の環境整備を進め、自転車活用の推進を図ってまいります。
12	4-2	○文京区は坂が多く、自転車（電動）の利用が多いと思います。白山通りの一部は、自転車専用道路（青色の塗装）を設けていますが、自動車の停車が多く結果的に自転車専用道路になっていない印象です。	○歩行・自転車利用の環境整備を進め、自転車活用の推進を図ってまいります。
13	4-2	○文京区内全域において、歩道が傾斜しており歩きにくい。	○バリアフリー整備工事等の機会を捉え、歩道の急勾配の解消に加え、歩車道幅員構成の検討を行うなど、誰もが安全で快適に歩くことができる歩行空間の整備を推進してまいります。
14	4-2	○坂の多い町でもあるので、コミュニティバスの整備はよい取組みと考える。（ルートも崖線を上下に行くように考えられており効果的。）電動のシェアサイクルやスクーターなど近距離を補うモビリティの整備により、より住みやすい街が実現できると考える。（駅からのラストワンマイルの手段の充実）	○安全で快適に歩くことができる歩行空間の整備と、自転車活用の推進に向けた道路づくりを進めてまいります。
15	4-2	○道路交通に関して、文京区は坂の多い地域であり、都バスや地下鉄だけの移動は困難です。コミュニティバスのネットワークをより密に、より利用しやすい方向に、していただくと良いと思います。	○文京区コミュニティバス「B-ぐる」の利便性向上に努めるほか、車両の通行が困難な地域への対応のための様々な検討を行ってまいります。
16	4-2	○コミュニティバス（本郷・湯島ルート）を利用して通勤をしており、そのために2021年夏に引っ越し（マンション購入）をしたが、人手不足で減便してしまい、ラクーアからの帰り便も早くなってしまって困っています。ICTの活用がうたわれていますが、人員不足への対応、持続的なバス路線の維持をお願いします。千代田区側に出るのにも本当に便利なので。	○文京区コミュニティバス「B-ぐる」の利便性向上に努めるほか、車両の通行が困難な地域への対応のための様々な検討を行ってまいります。
17	4-2	○4mに満たない道路に面した土地をけずって4mにする時、その費用を全額行政が出してくれたら早く道路拡幅が進むと思います。	○木造住宅の密集する住宅市街地等において、細街路の拡幅整備を推進してまいります。細街路の拡幅整備においては、原則的に区で道路整備を負担しているところです。
18	4-2	○3号線の進め方については慎重に。 ○無電柱化のマスタープラン（道路別）が欲しい。 ○緑化につき、道路・公園別樹木育成プランが欲しい。	○環状3号線の整備は、地域と区民の理解が得られる計画となるよう、慎重に対応してまいります。 ○文京区無電柱化推進計画に基づき「歩行空間の改善」、「都市景観の向上」、「防災性の向上」の観点から踏まえ、無電柱化を推進しております。 ○区では、みどりの基本計画や公園再整備基本計画などを別途定めております。
19	4-3	○桜並木の延長計画には、基本的に反対しています。都の計画にも意見を言って下さい。いわゆる緑の地域（低層地域）をつきぬけることになり、このプランとくい違ってきます。	○環状3号線の整備は、地域と区民の理解が得られる計画となるよう、慎重に対応してまいります。
20	4-3	○犬も遊べる公園がもっと増えてほしいです。	○公園整備にあたっては、地形などの自然環境を生かすとともに、様々な利用者が多面的に利用できる公園づくりを計画的に進めてまいります。

ご意見			区の考え
21	4-3	○緑地の保全。面積体積を減らさないように。緑地の継続を切らないように。生態系保全のため。	○生物多様性に配慮するとともに、公園・庭園を保全し、緑の面積（緑被率）と見える緑の量（緑視率）を増やすため、区民等と区が協働して身近な緑の保全と育成を進め、それらの緑を大規模な緑地や神田川の水辺とつないで、緑と水のネットワーク形成に努めてまいります。
22	4-3	○「緑と水のまちづくりの方針」の中で、生物多様性への配慮、推進について取り入れて頂くことをご検討頂きたい。現状の文京区の緑は、人の手の入った部分がほとんどですが、公園や公共施設、街路樹などにおいて、この地域の植生に合った植物を選ぶことは、生物多様性への配慮につながり、緑の質の向上につながるものと考えております。 ○神田川の水辺を楽しめる空間づくりについて、具体的な検討、記載をお願いします。 ○現状のマスタープランよりもだいぶ良くなっていると感じました。	○緑と水のまちづくりの方針の基本的な考え方において、生物多様性に配慮を記載しております。また、都市マスタープランは、まちの将来像や土地利用・都市施設などの整備方針を定めており、神田川の水辺を楽しめる空間づくりなどの具体的な内容については、関連する計画等で個別に検討されるものと考えております。
23	4-4	○建替えを促進するため、容積率の緩和をしてほしい。特に既存不適格となるマンションについて、建替えする場合、旧来の容積率での建替えを認めてほしい。	○高経年化したマンションについては、適正な維持管理の促進や円滑な改修・建替え等に向けた支援に努めてまいります。
24	4-4	○都市に森林を。森林でできた木材を建築物の中につかい森林で吸収されたCO2を都市に固定するようにして下さい。	○緑の面積（緑被率）と見える緑の量（緑視率）を増やす取り組みを進めてまいります。また、二酸化炭素の吸収源対策としての木材利用拡大等を通じ、脱炭素社会の実現に寄与してまいります。
25	4-4	○古いマンションに支援してほしい。	○高経年化したマンションについては、適正な維持管理の促進や円滑な改修・建替え等に向けた支援に努めてまいります。
26	4-4	○文京区の場合はマンションがどんどん増えている。共同住宅に住んでいる世帯・人口が、戸建住宅のそれより圧倒的に多いと思う。したがって、文京区の政策も共同住宅に如何に対処するか（例：マンション建替）が重要なポイントとなる。共用住宅に重点を置いた政策、対策が必要である。	○高経年化したマンションについては、適正な維持管理の促進や円滑な改修・建替え等に向けた支援に努めてまいります。 ○建築物の機能については、地域特性に応じた土地利用の配置方針に合った誘導を目指し、住宅においては、多様な住宅ニーズに対応した良質な住宅ストックの形成とその有効活用を進めます。
27	4-4	○住宅、住環境形成の方針において、新規ストックで良質なものを誘導する方向性が打ち出されていることは心強いが、既存ストックをどのように良質化するのかが見えにくく感じた。 ○今後しばらくは人口増局面ですが、20年以降は人口減少が始まると予測されており、シュリンク化するまちの中での生き残り策の検討、提案が待たれます。	○高経年化したマンションについては、適正な維持管理の促進や円滑な改修・建替え等に向けた支援に努めます。また、建替え更新を進めるほか、リノベーションによりスタートアップの需要等にも対応した オフィス、店舗など、柔軟な建物利用を推進してまいります。 ○また、人口減少社会でも選ばれる都市であるために、住宅の量的拡大から質へと転換、ゆとりある住宅地の保全・創出、交通利便性の高い駅周辺の高度利用、デジタル技術の活用による都市基盤の効率的な維持・管理等 を目指してまいります。
28	4-4	○こんなに細かなことを網羅的に考えているなんて頭が下がります。 ○脱炭素といえば…マンションの大規模修繕に合わせて（建物全体の）断熱化や太陽光パネル整備、電気自動車用充電器整備を促すようなしくみがあると良いですね。	○省エネルギー、創エネルギーなど脱炭素型のまちづくりに配慮した住宅・建築物を誘導し、省エネルギー性能の確保を目指してまいります。
29	4-4	○年寄りや若い人向けの起業のための施設をつくってほしい。コミュニティセンターなどにあるとよい。	○老朽化が進む建物については、建替え更新を進めるほか、リノベーションによりスタートアップの需要等にも対応した オフィス、店舗など、柔軟な建物利用を推進してまいります。
30	4-4	○高齢化が進む今、最期を文京区（住んでいる所）で迎える場合の具体例等を設定してほしい。	○ライフステージの変化や多様な暮らし方への対応に向けて、多様なニーズに合わせた住宅ストックの適切な管理と活用を目指してまいります。 なお、具体的には、都市マスタープランの方針を踏まえ、関連する個別計画や施策の中で検討してまいります。
31	4-4	○低中層地域の保全に期待しています。（マンションの乱立を防いでほしいです）	○低層住宅ゾーンでは、住宅ストックの適切な管理・更新とゆとりある宅地や豊かなみどりなど、安全で閑静な住環境を維持するための取組を検討してまいります。

ご意見			区の考え
32	4-4	○工場と一般住宅混在、及び学校の共存する地域に住んでいますが、近年、住宅→マンションに次々かわり、中層・高層の住民と町内会との交流がむつかしくなっていて、区の仕事ではないかもしれませんが開発業者には、災害時などの「共働」を促がすことも提案してほしい。	○災害に対する平時の備えの推進として、区民防災組織やボランティアなど地域社会の力を活用し、区民等と区が協働して防災まちづくりを進めてまいります。
33	4-4	○地域ごとにきちんとゴミ対策（ネット）	○都市マスタープランは、まちの将来像や土地利用・都市施設などの整備方針を定めており、ゴミ対策につきましても、関連する計画等で検討されるものと考えております。
34	4-4	○マンション等集合住宅が、小さめの土地面積にも乱立する状態に歯止めをかけ、一定の空地や公園の整備を行ってほしい。文京区内は、都内でもめずらしく大規模庭園などがあるが、災害時や有事にこそ必要な最寄りの公園、公共スペースが非常に少ない。 ○幹線道路内側の路地や細路を再区画して、子供や社会的弱者にも配慮したゆとりと緑のあるまちづくりを期待します。徒歩5分圏内に公園を。 ○文の京を目指すなら、勉学だけでなく、体も動かせる空間づくりは健全な発育のためにもとても大切だと思います。	○区民一人ひとりの生活の質を向上させるため、オープンスペースや緑の量と質の向上、道路・公園や公開空地の活用による居心地の良い屋外空間の創出などを目指してまいります。
35	4-4	○身近な商店街の魅力向上について、賑わいのある買物先だった商店街も今は小売店がなくなり、チェーン店ばかり。クリーニング、マッサージ、商店街が死んでいます。買物難民となっています。	○都市軸や生活軸の建築物低層部の用途には、最寄りの住民の生活を支える生活利便施設を中心に、沿道の特性に応じて訪れる人の利便性や賑わいを支える機能の誘導を目指してまいります。
36	4-4	○担当部署が違っていただけですみません。文京区外から来た人が街が暗いと言っていました。夕方（4or5時～朝方4or5時、平日、土、日、祝）ライト、街灯を増やして欲しい。高い樹木を無くし、もしくは少なくし、光、灯りが広がり易くなって欲しいと思います。	○防犯まちづくりの推進のため、樹木・街路樹の適切な剪定、街路灯などによる夜間の見通しの確保を図ってまいります。
37	4-5	○景観について... どういうイメージを目指すのか具体性を示すべき。100年先のタイムスケールでまちづくりを考えてほしい。	○地形、歴史・文化、拠点、まち並み及び地域活動などの文京区の地域特性を生かした景観形成を目指してまいります。
38	4-6	○私の自宅近くの空家が、がけ状の所に建っています(本郷1-32-10)。地震時、自宅が巻き込まれて倒れそうで不安です。何か対策がないでしょうか。多分、崖を掘ってガレージにしたと思います。地震時くずれ易いのは？	○空家や崖に関する個別具体的なご相談は、都市計画部まで直接ご連絡をお願いいたします。
39	4-6	○防災対策（災害対応）の強化にも期待しています。	○燃えない・倒れないまちを形成し、直下型地震による人的・物的被害の半減を目指すとともに、風水害・火山噴火・感染拡大など想定される複合災害への備えを推進してまいります。
40	4-6	○耐震はかなり以前より行うよう行政の方は国も都も区も補償金を助成し進めておりますが、以前に行政は高さ制限を過去に戻すような悪政を行い現状もそうです。建築年数の多くなった古いマンションは、お年寄りも多くローンの終了した方々です。耐震には容積率を増やして倍5階なら10階、7階なら14階と増やす事は耐震（力強い）建設になると思います。建設関係もうるおう、国都区なども又、全国的にも税収も増えます。頑張ってください。	○マンションなどの敷地に一定割合以上のオープンスペースを設けることなどにより、市街地の環境改善に貢献すると認められる場合には、特別に建築制限（容積率や絶対高さ制限など）を緩和することも可能と考えております。
41	4-6	○おおむね、区の重視したい施策がラインナップされているように感じました。 ○事前復興は大きな課題として重点的にとりこんでほしい。特に、来街者（働く人など）や外国人が多い本区では、災害発生時のスムーズな対応は難しさを抱えていると思います。	○避難空間の整備と帰宅困難者対策を推進し、避難行動要支援者の支援体制の充実を図るとともに、災害時における要配慮者や女性、性的マイノリティの人たち、外国人等への対応を強化してまいります。

ご意見		区の考え	
42	4-6	<p>○水害地域（江戸川公園辺り）が防災避難場所しているのは、おかしいのでは？</p> <p>○関東大震災時の時は小石川植物園は避難場所として機能したと認識している（井戸も活用できた）が、現在、井戸は使えない。門は閉まっている（東大の管理）状況で、避難場所として機能するのか？</p> <p>○根津地域は、木造密集地は台東区とどう連携するのか？消防車が入らない（4m ない私道が多い）文京区に限ったことではないが、絵に描いた餅の感が否めない。</p> <p>○高低差が大きい文京区では、古い擁壁が多い。土砂災害ハザードマップで警戒区域が指定されているが、何をどう警戒するのか、具体策を指さないと意味がない。</p>	<p>○都市マスタープランは、まちの将来像や土地利用・都市施設などの整備方針を定めており、防災に関する具体的な内容は、地域防災計画などの関連する計画等で検討されるものと考えております。</p> <p>○江戸川公園周辺については、水害発生時の一時避難場所とは異なり、延焼等により、直接避難所へ避難することが困難な場合の緊急避難場所として指定しています。</p> <p>○平常時においては、東京大学との「災害時における小石川植物園井戸の使用に関する協定」に基づき、井戸の維持管理を行うとともに、発災時の活用について相互に確認を行っております。</p>
43	5-1	○都心地域に関して、サッカー通り近くの、「産、官、学としての地域の連携により…」という、まちづくりには賛成ですが、そのための具体的な戦略が見えてきません。現状では、住居だけが建ち並んでおり、それが今後も続くようにしか思えません。	○高次都市機能施設が有する機能の保全・向上を図ると共に、それを生かした都市機能の周辺地域への集積を誘導してまいります。
44	5-1	○まだまだ日常的な買い物に不便があり（ラクーアからの帰りの便が20時より前なのは辛い）、湯島2丁目は高業地域の割に買い物できる場が少ないと感じています。サッカーミュージアムがなくなったあと、バスも減り、一気にさびれてしまわないか心配です。	○都市軸や生活軸の建築物低層部の用途には、最寄りの住民の生活を支える生活利便施設を中心に、沿道の特性に応じて訪れる人の利便性や賑わいを支える機能の誘導を目指してまいります。
45	5-1	<p>○先般、後楽2丁目の再開発計画がある事を知りました。私の住んでいる本駒込3丁目周辺とは、若干距離がありますが、同再開発エリアを廻ったところ、幹線道路前面にある不動産業者の大きな看板が立てられていました。同業者は、文京区に於いて事務所、マンション開発等大きな関わりがあるかと思えます。一般業者が売上、利益を追求して事業を進めるのは当然の姿ですが、文京区の開発が特定の業者の開発計画に偏っていないかどうか？老婆心ながら感じるところです。</p> <p>○都市計画に関しては、地域的特性、歴史的特性、最有効使用を客観的に判断の上、独立的に設定される事が必要と思えます。（少なくとも計画は、不動産業者の事業優先でなく、住民優先である事が必要）その上で、民間不動産業者と協働して動くのがよろしいかと。</p>	○後楽二丁目地区では、区民等が中心となってまちづくりの検討を行っております。区は、都市マスタープランのまちづくりの目標や将来の姿、部門別の方針や地域別の方針を踏まえたまちづくりの実現に向けて、引き続き区民等とまちづくりに取り組んでまいります。
46	5-1	○「特徴的な高低差を活かした公園づくり」という礪川公園周辺のコンセプトは、その南側に位置する後楽園公園においても同様に考えるべきではと思いました。後楽園側と水道橋側で南北で相当のレベル差があると考えたためです。	○都市計画公園である後楽公園については、民間事業者が認可を受けて都市計画施設の整備に関する事業を施行するものであるため、具体的な事業内容については、事業者等と連携してまいります。
47	5-1	<p>○近くに図書館などの区立の施設が欲しい。</p> <p>○飯田橋駅からのアプローチを早く決めて欲しい。</p>	<p>○人口構造変化や施設の利用状況に応じた公共施設等の利活用促進や最適配置等を検討してまいります。具体的な内容については、個別計画等で検討されるものと考えております。</p> <p>○飯田橋駅周辺においては、駅へのアクセス向上などによりにぎわいのあるまちづくりを目指してまいります。</p>
48	5-2	○根津（南端）周辺は台東区と接しているので、台東区と共有・協議して、まちづくりの目標を検討してほしい。	<p>○文京区都市マスタープランは、上位計画である東京都区域マスタープランに即する形で定めており、隣接区との連続性も図れるものと考えています。また、台東区など隣接区との情報共有も図ってまいります。</p> <p>○また、第3章の将来都市構造図において、隣接区との連携を踏まえ、東京都市計画区域マスタープランの拠点を追加しました。</p>

ご意見			区の考え
49	5-2	○隣の区との協業も増やしてほしい。例として、台東区の日暮里駅との街づくりなど。	○文京区都市マスタープランは、上位計画である東京都区域マスタープランに即する形で定めており、隣接区との連続性も図れるものと考えています。また、台東区など隣接区との情報共有も図ってまいります。 ○また、第3章の将来都市構造図において、隣接区との連携を踏まえ、東京都市計画区域マスタープランの拠点を追加しました。
50	5-4	○茗荷谷の辺りをよく利用するのですが、学生さんが最近どんどん増えているように思います。小石川図書館がもっと大規模なものになれば、茗荷谷にもっと活気が出てくるのではないのでしょうか。「ゆいの森あらかわ」などご存じでしょうか。とてもステキな図書館です！参考にされてはどうでしょうか。 ○「文の京」の名にふさわしい街をつくっていきましょう！！ ○学校で「持続可能なまちづくり」について考えました。誰もが使える開かれた施設が増えるといいなと思います！ ○区民、在学の方も含め、まちづくりについての意見をもっと積極的に募ってははどうでしょうか？区立の学校、施設等で、アンケートを分かりやすい形でとるなど、もっとできる事はあるはずですよ！よろしくお願いします！自由に意見発信のできるスペース（スピーカーズコーナー？）を設置するのもあり！！ ○図書館に置かれていた町づくりの資料を見たのですが、（解決したい課題について、現状、解決策等を見開きにそれぞれまとめているものです）どれも実現されたらとてもいい町になるようなものだったのですが、気になったのは担当課がバラバラな事です。部署同士での意見交換、情報共有は十分に行われているのか気になります。複数の関係しうる課のメンバーでチームを作ると話しやすいのでは。	○公共施設の整備・改修にあたっては、人口構や地域特性等の変化を捉えた整備を進めてまいります。小石川図書館の整備については、都市マスタープランや公共施設総合管理計画等を踏まえ、個別の計画で具体的な検討が進められます。 ○歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文の京」を目指したまちづくりを進めてまいります。 ○都市マスタープランの見直しでは、オープンハウス型説明会の開催や、説明用動画の配信などの新たな取り組みを行っています。周知や意見収集のあり方については、引き続き研究・検討してまいります。 ○都市マスタープランの見直しにおける3つの視点（人口構造変化への対応、脱炭素社会への対応、大規模災害への対応）は、各部各課の連携を図ることも意図して設定しております。
51	5-4	○町会、自治会から民意を汲む、具体的な仕組みが考えられていない。 ○竹早公園を緑の拠点にして下さい。 ○防災の視点が不足している。公園整備にもっと防災の視点を。広場を広くすべき。	○都市マスタープランの見直しでは、オープンハウス型説明会の開催や、説明用動画の配信などの新たな取り組みを行っています。周知や意見収集のあり方については、引き続き研究・検討してまいります。 ○緑の拠点は、まとまった緑の集まりを位置付けています。竹早公園については、次回の改定に向けて、周辺のみどりの状況も踏まえ、拠点に位置付けるか検討してまいります。 ○防災については、部門別方針の一つとして記載するとともに、大規模災害への対応を都市マスタープラン見直しの視点として掲げています。公園、道路、住宅・住環境なども含め、都市マスタープラン全体で防災の視点は重視しております。
52	5-5	○道路整備、電柱地中化など、インフラの整備をお願いします。 ○木密地域の解消をすすめてください。 ○大型公園の整備をすすめてください。 ○豊島区にまけるな！！	○バリアフリー整備やコミュニティ道路整備、無電柱化などを推進することで安全かつ安心して利用できる道路環境の整備に努めてまいります。 ○木造住宅の密集する住宅市街地においては、老朽建築物の建替えや除却による不燃化、耐震改修による耐震化、細街路の拡幅整備などにより、木密地域の解消を進めているところです。 ○公園の整備や再整備にあたっては、地形などの自然環境を生かすとともに、少子高齢化など地域社会の変化を踏まえながら、地域の潤いや憩い、健康づくりの場として、様々な利用者が多面的に利用できる楽しめる公園づくりを計画的に進めてまいります。

ご意見			区の考え
53	5-5	○細街路拡幅整備事業は緊きんの課題だと思っています。(木密、未セットバック等) ○豊島区が区の魅力向上に向けて本格的に取り組んだように、文京区も本気で取り組んで、区全体が魅力ある集合体で区民全体が安心して住める街であれば良いなと思っています。大変だと思いますが頑張ってください。	○細街路拡幅整備事業は平成2年より区全域で実施しているところです。 木造住宅の密集する住宅市街地においては、老朽建築物の建替え、除却、耐震改修などの機会をとらえて細街路の拡幅整備などを促進してまいります。
54	5-5	○文京区主体の公共の場で、行政への意見を出せるカフェみたいな図書館があったらいいな。 ○各地区に対する方針がわかりやすかった！ ○水道がさびしい…。	○図書館等公共施設整備では、コミュニティを形成する空間整備などを目指してまいります。
55	6-2	○プランができることでハードのまちづくりの方針は分かったのですが、区民生活にどう生かされるのか見えにくい？と感じました。特に6章の具体的な方策、施策が見えてくる内容になって欲しいです。ソフトの取組みを区がどう進めるのかがより知りたいと感じました。	○都市マスタープランは、まちの将来像や土地利用・都市施設などの整備方針を定めています。都市マスタープラン実現に向けた取り組みを進め、文京区の魅力の要素や特徴が生かされたまち、安心して暮らせる安全なまち、快適で活力ある持続可能なまちを、ハードのまちづくりの面から目指してまいります。 なお、ソフトの取組みは、関連する計画等で検討されるものと考えております。
56	6-2	○非常によくできています。関係課との連絡を綿密にしてほしい。(①まちづくり②観光③地域経済) ○没場所性 今後も没場所性が生じないよう、まちづくり課、観光係、地域経済係と歴史的な事ばかりだと逆に没場所性を生じてしまう。没場所性を共有して綿密な連携をしていただきたく、よろしくお願い申し上げます。 ○都市マスタープランを作って終わりではなく、始まりです。	○人口構造変化への対応、脱炭素社会への対応、大規模災害への対応などにおいては、各部各課の連携を図りながら進めてまいります。 ○また、都市マスタープランの実現に向けた取り組みを進め、進行管理の中で評価と検証を行ってまいります。
57	6-2	○協働の実現の年齢層のバランスはどうとるのか。20～50代の働く世代の区民の積極的な参入にはハードルがありそう。	○デジタル技術の積極的な活用などにより、参加しやすい環境整備に努めてまいります。
58	6-2	○地区の特色に応じてゾーン分けするのはとてもわかりやすくいいなあと感じました。 ○文京区の価値は、閑静な住宅街、つまり自ら学ぶ人たちだと思うのでその資源(知恵やアイデア)を活用出来たらよりいい街になる気がします。	○低層住宅ゾーンやみどりの拠点を新たに設けるなど、文京区の魅力の継承と創造を目指してまいります。
59	6-2	○多彩な地域の特色を活かそうとする計画で好感が持てました。 ○協力できることがあればしたいのですが、その方法はあまり分からなかったです。	○引き続き、協働で次世代に引き継ぐ安全で快適な魅力あふれるまちづくりに取り組んでまいります。 ○説明会にご参加いただくことや、ご意見をいただくことも協働の一つと考えております。
60	説明会	○オープンハウス型説明会の取組が非常に良いと思います。アットホームで、ゆっくり自分のペースで計画を見れます。動画もパネルもとても見やすいです。ありがとうございます。職員の方々も親切に教えてくれるので落ち着いて知る事が出来ます。文京市役所の全部署や公共施設や他の団体等もオープンハウス型、対話型、オープンダイアログになれば良いなあと感じました。	○説明会に関するご意見、ありがとうございました。
61	説明会	○係の人のいろいろお話がきけてとてもためになりました。マンションの悩みもいろいろ相談に乗ってくれると言われました。ありがとうございました。もっと沢山の方が見学してほしいですね！	○説明会にご参加いただき、ありがとうございました。 沢山の方に参加していただけるように、周知方法などについては、引き続き研究・検討してまいります。
62	説明会	○大変勉強になりました。ありがとうございます。	○説明会にご参加いただき、ありがとうございました。
63	説明会	○この様な機会をありがとうございます。比較的地盤固いのではと油断しており、有益です。	○説明会にご参加いただき、ありがとうございました。
64	説明会	○とても深く考えられているのが分かりました。	○説明会にご参加いただき、ありがとうございました。
65	説明会	○パブリックコメントを提出します。	○説明会にご参加いただき、ありがとうございました。

ご意見		区のかえ
66	説明会 ○住みよいまちの形成ありがとうございます。文京区は落ち着いて生活できるまちだと思っています。	○説明会にご参加いただき、ありがとうございます。 引き続き、協働で次世代に引き継ぐ安全で快適な魅力あふれるまちづくりに取り組んでまいります。
67	説明会 ○オープンハウス型説明会については、休日の開催もしており、素晴らしい取り組みだと思います。職員の方も、来訪者に丁寧に説明していて、都市マスへの理解が進むと思います。引き続き、文京区の特徴をいかしたまちづくりを進めていただければと思います。大きなパネルを使った説明がとてもわかりやすい。	○説明会に関するご意見、ありがとうございます。 引き続き、協働で次世代に引き継ぐ安全で快適な魅力あふれるまちづくりに取り組んでまいります。
68	説明会 ○大体都市マスタープランに賛成しています。	○説明会に関するご意見、ありがとうございます。
69	説明会 ○わかりやすいパネルでした。 ○文京区の特徴・特色あるまちづくりを推進して行って下さい。	○説明会に関するご意見、ありがとうございます。 引き続き、協働で次世代に引き継ぐ安全で快適な魅力あふれるまちづくりに取り組んでまいります。
70	その他 ○マスタープランがあること自体、今回初めて知りました。子どもが小学生になって区の計画等に関心を持つようになりましたが、そうでなければ触れることはなかったと思います。情報の周知は難しいところだと思いますが、小学生や中学校、保育園などで配布プリントに入れるなど、幅広く知ってもらうためのアプローチをして頂きたいです。	○周知方法などについては、引き続き研究・検討してまいります。
71	その他 ○ジェンダー平等の実現のための章を追加して下さい。 ○区議会の議員の女性男性の割合が 50/50 になるようクォーター制の導入について盛り込んでください。 ○同時に女性、LGBTQ の議員に対するハラスメントを防止するための差別禁止条例の制定について盛り込んで下さい。	○都市マスタープランは、まちの将来像や土地利用・都市施設などの整備方針を定めており、クォーター制の導入や、差別禁止条例の制定につきましては、「文京区男女平等参画推進計画」など関連する計画等で検討されるものと考えています。
72	その他 ○お散歩	○説明会にご参加いただき、ありがとうございます。